

ブックトーク・ビブリオバトル

年間を通して、継続的に子どもたちが本に興味を持つことができるよう、月に一度の全職員によるブックトーク、学期に一度の全児童によるビブリオバトル、全家庭で月に一度の母子家庭読書の日を行っています。

全校児童13名の小規模校であることを生かして取り組むことで、どの子どもも本の面白さを感じ、読書に親しむことができるようになりました。

31年度 図書館教育年間計画

実施日時	計画内容	実施の主体	毎月二十日は母子家庭読書の日
4月15日	ビブリオバトル	全校児童	
5月13日	ブックトーク	職員	
6月10日	ブックトーク	職員	
7月8日	ブックトーク	職員	
9月30日	ビブリオバトル	全校児童	
10月28日	ブックトーク	職員	
11月18日	ブックトーク	職員	
12月16日	ブックトーク	職員	
12月16日	調べ学習指導	図書館司書	
1月20日	ビブリオバトル	全校児童	
2月17日	ブックトーク	職員	
3月2日	ブックトーク	職員	

ブックトーク

毎月1回月曜日をブックトークの日として実施をはじめ、6年目になります。ブックトークとは、テーマを決めているいろいろなジャンルの本を、短い時間でつないで紹介するものであり、読み聞かせとはねらいが異なります。聞き手である児童に、その本を「読みたい」と興味を持たせるために行います。ブックトークは読み聞かせと比べ、短時間に何冊も本を目にすることができます。季節や学校の行事に合わせて本を紹介することで、子ども達は「今日の図書の日、ブックトークがあるんですね！」と、毎月のブックトークを楽しみにしています。1年間で、およそ60冊の本を子どもたちに紹介しています。



教頭先生によるブックトーク
全職員が年に1回ブックトークを行っています。

学期に一度の ビブリオバトル



学期に一度は、全校児童が参加して、1年生から6年生までのビブリオバトルを行っています。

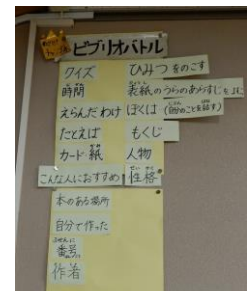
ビブリオバトルとは、制限時間（たとえば3分間）内に、おすすめの本一冊を紹介する紹介合戦です。聴衆（児童）は、紹介された本の中から、読んでみたいと思った本に一票を投票し、得票数の多かった本がチャンプ本になります。

年間に三回行うことで、子どもたちは聞き手を惹

きつける工夫と、選ぶ本を厳選してくることができるようになってきます。子どもたちが手に取りたい本を図書室に揃え、効果的に紹介し合うことで、どの子も本が好きになりました。図書の時間を楽しみにし、隙間の時間ができると黙々と本を読む子どもたちの姿が、母子小学校にはあります。



これまでに子どもたちから選ばれたチャンプ本の数々



ビブリオバトルで子どもたちが身につけた工夫

毎月20日は“母子小家庭読書の日”

三田市立母子小学校

本を読むことで子どもは人を思いやる心を育てると同時に、基礎的・基本的な知識を習得します。また、語彙の広がりを始めとして、言語力が豊かに育まれていくことで、思考を深め、自分の思いを効果的に表現することができるようになり、人生をよりよく生きていくための力を培っていきます。

そこで、本校では毎月20日を母子小家庭読書の日と設定いたしました。今年度も、子どもたちのことばの力をはぐくむことを大切に、教育活動を展開しております。また、年間を通して図書の時間や読書生活の充実をはかっていきます。

子どもたちが家庭でゆっくり本の世界を楽しむことができるよう、ご協力ください。よろしくお願ひいたします。

方法：帰宅後、家庭で読書を楽しみ、一言感想を書く。

構えず気軽に、好きな本をご家族で楽しむ時間を、お子さんと共有いただければ幸いです。



母子家庭読書の日

家庭読書の充実に取り組むことで、児童のことばの力の育成と豊かな人生作りの基盤を養うことをねらい、毎月20日は家庭で読書を楽しむ日としています。

読んだ本は、三田市内の児童生徒全員が持つ「読書通帳」に記録し、月に一度の読書の記録になります。

読書番号	書名(著者名・感想など)	ページ
66	4 21 戦争と孫の心 (三田市のかけ橋)	128
67	4 21 リンパマン	96
68	4 22 夕霧 うらな	527
69	5 20 火曜日はトラブル	128
70	5 20 Xアリの謎の島	113
小計		982 ページ
ここまでの合計		1396 ページ

読書番号	書名(著者名・感想など)	ページ
71	5 20 モルモットとツバの物語	160
72	8 1 はなとこ	222
73	8 20 おやつマン	121
74	8 21 フリッパとふしぎの国の友	48
75	8 2 材料のつくりかた	40
小計		719 ページ
ここまでの合計		1115 ページ